

今年4月より、本校校長として赴任しました原 佳織と申します。大野城市立平野中学校より異動してまいりました。よろしくお願いいたします。私は小さい頃から歌うことが大好きでした。もっと音楽を知りたい、うまく歌いたいと思って音楽についてたくさん学びました。そうして、大好きな音楽を子どもたちと一緒に学びたい、音楽のすばらしさを伝えたいと思うようになり学校の先生になりました。音楽は私にとって「燦燦と降り注ぐ光」でした。誰にでも自分を輝かせる「光」があります。進む方向を照らす「光」があります。そんな「光」を見つけてほしい、感じてほしいと思います。

心奮い立つ 生徒会スローガンの力！

4月になって間もなく、校門すぐの壁に掲げられた「創造れ(つくれ)～今こそ太東アクション～」という生徒会スローガンを見てとても感動しました。それは、スローガンから「自分だからできることを自分からやっつけていこう」と見た人の心を奮い立たせてくれると感じたからです。コロナ禍で、思うようにならないことがあると嘆くのではなく、しっかりと前を見ている強さが、皆さんの中にあるのだと思いました。そんな皆さんとともに、よりよい学校を創造って(つくって)いきましょう。

今が「なりたい自分」「新しい自分」になるチャンス

4月7日(水)の始業式で、幼・小・中・高校の間に、何度も何度も転校した経験から、新しい学年、新しい学級、新しい友達や先生と出会う4月は、新しい自分やなりたい自分になるチャンスであるという話をしました。そして、なりたい自分になると決めたらなれるのだということ話をしました。ぜひ、「今」というチャンスをいかしてほしいです。おりしも、始業式の少し前に世界中が感動した出来事がありました。4月4日(日)競泳日本選手権で約2年前に白血病と診断された競泳の池江璃花子選手が、苦しい闘病生活を乗り越え、難しいとされていた東京オリンピック出場内定を決めました。多くの方が彼女の姿から、勇気と感動で胸がいっぱいになりました。その池江選手は、「何かひとつのちょっとだけ違った行動だったり考えで、運命と未来って簡単に変わると思っている」と語っていました。「なりたい自分」「新しい自分」になるには、「自分の意思」次第なのだあらためて思いました。

94名の新生ととも35年目の太宰府東中学校がスタートしました



4月9日(金)に新生94名を迎え入学式が行われました。太宰府市教育委員会教育委員の武藤様をはじめ、ご来賓の方から心温まるお祝いの言葉いただきました。私からは2つのことを話しました。1つ目は「今までの自分に挑戦してほしい」ということ。自分でできないと決めず、一步を踏み出すことが挑戦であり、成長であること。2つ目は「仲間のとのつながりを大切にしてほしい」ということ。学び合い、伝え合いから強いつながりが生まれ、互いの素晴らしさに気づき、互いを尊敬しあえる真の仲間になり、共に伸びていこうということ。新しい場所で、緊張が続いていると思いますが、だれもが同じように感じているはず。一緒に少しずつ慣れていきましょう。心配なことやわからないことは、いつでもだれにでも相談してください。全校生徒の皆さんの笑顔があふれる学校を一緒に創っていきましょう。



【離任された先生方】

校長 田中 敦典先生(ご退職)
 教頭 下大迫直人先生(那珂川中後野分校長ご昇任)
 国語 木塚 優子先生(大和中へ)
 支援員 楠本 悦子先生(学業院中へ)
 用務員 松雪 精司さん(水城小へ)

【赴任された先生方】

校長 原 佳織(平野中から)
 教頭 出田 誠先生(大和中から)
 国語 安河内祥子先生(春日西中から)
 美術 井手 孝信先生(有田工業高から)
 支援員 本野 直子先生(学業院中から)
 用務員 平島 正昭さん(国分小から)